

平成デモクラシー

ポスト拝金主義

飛龍

超 古永飛龍



平成デモクラシー
ポスト拝金主義

超吉永飛龍

速攻力。すぐ決め、同時に行う力。

自信力。自らを信じ抜く力。

愛己力。自分を愛し抜く力。

決続力。決心して続ける力。

セルフリス・ペクト。自分自身を尊重する。

性強説。人間はもともと強いと信じ進んでいく者。

性弱説。人間はもともと弱いと信じ団結する者。

鍛え方次第で大きな力を持つようになる。

はじめに

この「平成デモクラシー ポスト拝金主義」を手にとつていただき、感謝いたします。
この本を書き始めて15年。

「15年でこの程度か」と言われれば、それまでだが、
いろいろなエッセンスが詰まっていると思います。

なにか地球が変わる、またはあなたが変わるきっかけになれば、と願っています。

納得できない箇所もあるかと存じますが、大目に見てやってください。

よろしく願っています。

第1章 Answers 9

益にも優先順位がある	10
プライド	11
定義と概念	12
大統合時代	12
高度人情衰退期	13
価値とは何か?	13
楽しむ	14
年下を尊敬する	14
毎日の仕事を視点を变えて楽しんでみる	15
利ではなく理で動く	15
紛争のなくしかた	16
地球は人間の天下ではない。	16
優しくする	16
海外旅行者が多い国は自国で 満たされていない人が多い国	17
G N H	17
C D I	18

第2章 Reasons 19

自由とは?	20
この世に生を受けた理由 敗れるべくして敗れる場合	20
生続力	21
音楽	22
旅	22
LOSE-LOSE	23
道	24
なぜチャンスが来ないか?	24
パンクした愛	25
リーダーとは?	25
心の傷	25
なぜ墮ちるのか?	26
理性	26
CHANGE	27
理想と現実	28
恩送り	28

急ぐ人々	29
警告	29
質問	30
成る	31
「自己実現欲」より 「使命を果たす」という欲	31
Do.	32
見えざるもの	32
ナイトメア	34
絶対王者	35
郷	35
転んだっていい	36
目は語る	37
信用無くして存続なし	37
嘘	38
欲に屈した者たち	38
賢いとは?	39
本当の「もったいない」	39
なぜ五体はあるか?	40

第3章 Dreams 45

決める	40
美しき	41
格言	41
海外に出る	42
幸せを感じる	42
子	42
極限状態。	43
人類の優越	43
アンチアンチエイジング	44
夢見る人	46
アイデンティティ	46
善き人	47
自由	47
競馬	48
数字	49
絆	49

水 49

『富、名声』と『幸せ』は別次元 50

「ホモ サピエンス」から

「ホモ アモレ」へ 50

選抜股 51

六次元 51

聡明学 52

地域特産品 53

地球の逆襲 53

褒美と報い 54

強者 54

古きを温めて新しきを知る。

以て師となる 55

現世にこだわる 55

列車 56

ウラディミール クリティコ 56

常ならず 57

伝統 57

メディアの責任 58

データ 58

すでに動き出している 59

集団 59

第4章 Future 61

始まっていない人生 62

アメリカは不自由 62

強いハート 63

チャンスが来たら 64

己を育む 65

顔の力を抜く 66

排他的にならない 66

言葉は生き物 66

経済至上主義な今 67

恋♪ 67

力を合わす 68

Continue or not. 68

善行と悪行 69

書き続ける 70

ナンセンスな専門家 70

ファンの心境 70

ハイリスクな誘惑 71

政治の敵 72

第5章 I have decided 73

すっげーヤツら 74

優しく 74

叶え、願い 74

世界四大悪行 76

勝つ心 76

いじめ 77

見た目 77

本末転倒 78

燃え尽きるまで頑張らない 78

人生を好転させる 79

君に、僕に 79

データ 58

すでに動き出している 59

集団 59

第4章 Future 61

始まっていない人生 62

アメリカは不自由 62

強いハート 63

チャンスが来たら 64

己を育む 65

顔の力を抜く 66

排他的にならない 66

言葉は生き物 66

経済至上主義な今 67

恋♪ 67

力を合わす 68

Continue or not. 68

善行と悪行 69

車窓から見る風景 80

愛に飢えろ 80

なぜ? 81

完成途上 81

ぬいぐるみ 82

狼 82

急速な悟り 83

セルフラブ 83

挨拶 84

開拓者と旗 85

カテゴリー 85

心がない人々 86

真の五大栄養素 86

チームを強くする五大栄養素 86

タブロイド紙 87

第6章 Earth 89

地球人の仕事 90

第1章

Answers

日本国憲法第九條 90
蔑視するマスコミ 91
尽き行く資源 92
オリンピックク 92
地球は誰のもの? 93
地球は約束の地 93
二つの無 94
宇宙遺産 94
立ち上がる 95
無勢に多勢 95
悲鳴 96
敵から学ぶ 96
救ってくれた芸術達 97
確信を早まらない 97
50% 98
優越感を完全に拭うことに決めた 98
集中力 98
後悔に支配させない 100
海 100

LOVEちゃん 101
スポーツの聖地に魔物はいない 101
幸せ度は心の富裕度に比例する 101
感動を努めてする 102
地球あつての人類であつて、
決して人類あつての地球ではない 103
口だけの政治家たち 104
受け流す 105
人生とは尽星で尽誠 106
太公望 108
義の無い主義 109
生まれることのなかつた兄 109
あとがき 111

ODAにも、国益を考えて、日本ははっきりそれを明記している。最低最悪である。最重要益は地球益である。

間違いない。国益、社益を求め、多くの国を貧困に陥れていやしないか？

貧困は人災である。先進国の搾取や人件費の安さが改善されない。

ホワイトバンドのCMでも言っていた。国益、社益により、地球益を損なっていないか？

次に、生物益である。環境の変化により、種そのものが消え去ろうとしている種がある。もはや断絶となった種もある。これも人災である。生命工学、遺伝子工学、場合によっては、遺伝子組み換えをも駆使しても、種の保全をしなければならない。人類を脅かすものは、うんと小さいものである。未知のウイルスなどである。

第三に、人類益である。貧困というのは絶大な問題である。一部の上流階級の者たちによる人災である。一秒でもはやく、経済的成功と人間的成功がまったく異なるものであるということに気づくことである。いや、どっかで気づいている。利という数値か、実体的なものに支配されているのである。個人的には、種の根絶のほうが、貧困より重いと思っっている。人類も一つの種であり、その種がどんどんなくなっているというのは、より闇な人災である。国益、社益はその下である。

日本の土地の高さが構造不況の原因。

固定資産税。会場の使用料、光熱費の高さの元凶。

特に固定資産税の高さが庶民を圧迫。

空き部屋だらけの構造も不安なマンションを量産し続けることは

バブルの再崩壊どころではなく、第二次世界恐慌の引き金になる！

プライド

プライドが人生のなかで重要な位置を占めているという方も多いであろう。譲れなかったり、許されなかったりまたは捨てられなかったりするものである。ときには足かせになったりもする。この会社じゃなくちゃとか、この大学しか行かないとか思ってしまうこともある。プライドと能力のバランスをとるべきである。

プライドが能力をこえていれば傲慢である。能力がプライドを上まわっていれば謙遜である。むしろかしいが、プライドと能力とのバランスがとれていれば中庸ということになるか。特に能力はないが、プライドだけは人一倍という状態になってはいないだろうか。それでは周りが迷惑するし、自分が一番損をする。スポーツ選手などビッグマウスであったほうがいい場合もある。またプライドを先行させて能力を伸ばしていく方法もある。こういうタイプの人のほうが、謙遜し

すぎる人よりもおもしろいのである。

定義と概念

定義というものは自然体なもの。

不変なものではなく、時代に応じて、変化、進化するもの。

概念の定義とは、人々の想いや心。

これは、引き継がれていくものである。

定義の定義とは、定められた義。

人々の良心によるべきものである。

大統合時代

21世紀はどンドン統合を推し進めていくべきである。アフリカ連合のように強い発言権をもつようになり、ヨーロッパ連合のように共通通貨にもできる。大国のような強い力をもつためではなく、環境問題や人口問題などを解決し、国際問題を円滑にしていくなためにひつようなのである。大きな器量と妥協の精神、勇気と英断をもって大きな一歩をふみだそうではありませんか。もは

や国益などといった次元ではなく、地球全体の利益を考えていく必要がある。

映画「宇宙戦争」のように外敵の来襲などに、超国家規模で備えたほうがいいのではなからうか。万が一、地球外からの侵略があれば、たちどころに地球は一つになるだろう。

高度人情衰退期

戦後の日本は高度経済成長期をむかえ、所得も増え、めざましく生活水準があがっていった。しかし、一方で核家族化がすすみ、近所付き合いは減っていった。人情は薄れていったのである。高度経済成長期はやがておわりをむかえた。しかし、高度人情衰退期は今も続いているのかも知れない。いじめや仲間はずれなどによる不登校のひとの数は増え、家庭内暴力は年々深刻化している。弱者に厳しい社会になってきている。おとなも子どももまずはいさつからはじめようじゃありませんか！「おはよう」「お疲れ様です」ちよつとのも「ありがとう」などと声をかけ、21世紀は再び人情開花の鐘を鳴らそうではありませんか。

価値とは何か？

価値とは、本来、無形。

その価値がすべてのように語られる。

価値という概念は、無から生まれた。

価値というものは、結果ではなく、過程ではなからうか？

楽しむ

なにをするにも楽しむことが大事である。孔子も物事を好きであるよりも楽しむことのできる人のほうが優れているといっている。仕事に追われ、あたまがパニックになったときも、混乱している状況を「俺は今混乱してるぜー」と楽しんでみるのである。そうすると不思議とパニック状態から抜け出せたりする。登山などで危険な状況に陥ったときも、緊迫した状況やスリルを楽しんでみるのである。仕事や勉強においても、とりあえず楽しんでみるという行動をとってみるのである。そうすることによってストレスが減ったりするのである。

年下を尊敬する

「年長者を尊敬しなさい」と人は言う。それでは反発を招いたり、不遜な人間を育ててしまう。そこで年上が年下を尊敬し、尊敬ということを教えてやるのである。尊敬というものは動詞であ

る。感情でもあるが、それ以上に行動なのである。年下に尊敬という行動をとってみるのである。そうすることによって、それは尊敬という感情が帰ってくるのである。それにより相互尊重ということになり、全ての人を尊敬することもできるようになる。他人の長所をガンガン吸収できるようになり、大きな人間になっていくのである。

毎日の仕事を視点を変えて楽しんでみる

毎日同じことの繰り返しで楽しくないと感じるものがよくある。そうなってしまつと人生がつまらなくなる。しかし仕事を違う角度からみつめたり、普段と異なることに意識をむけることにより、事態を打開できることがある。「この製品は今日ではてかかってるなあ」とか、「あの子はいつもより二重だなあ」とか意識を変えてみるのである。そういうことで日常に変化が生まれ、楽しくなってくるのである。

利ではなく理で動く

損得に支配されないこと。それは人間をとんでもなく小さくする。天地人の理があるとき、見返りを求めず、行動するべし。そんな時、見返りは得られる。

紛争のなくしかた

領土問題。全ての国の主張は間違っている。土地は全て地球固有のものであり、ひとりよがりな主張は、大きく地球益を損なう。地球はひとつ、そして尊い神ともいえる存在。人類ごときが勝手に分割できるものではない

地球は人間の天下ではない。

人類の好き勝手に地球を改造しているようだが、人類よりもはるかに多い、昆虫やウイルス中心に地球は動いているのかもしれない。

優しくする

優しくできないではなく、優しくしてない。
自分の意志で優しいという行動をすること。

海外旅行者が多い国は自国で満たされていない人が多い国

旅行好きでドイツ人と日本人。「ドイツは嫉妬の国だ」とドイツ人の友人や教師が言っていた。お金をたくさん持つと嫉妬の目で見られ、国内にいられなくという。日本は強欲の国である。物やステータスへの底なしの欲求。どんなにセレブになっても決して満たされない。両国とも人を幸せにしないシステムであり、自分の国に心の深い部分では満足していない。経済的な豊かさとは本質的に異なっているのだ。
ちなみにドイツ人は旅行先を徹底して調べる。それは僕も真似しています。

G N H

国民総幸福量GNHを国家の最重要事項にした国ブータン。所得よりも、国民がいかに幸せでいられるかに重きを置く政策がとられている。テレビや携帯がなくても、「ほしいものは何？」と聞くだけでも「なにもいらぬ」という。まばゆいばかりの目。キラキラ輝いていて、すさんだ瞳の子はいない。